

令和2年度第3回鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会（書面開催）会議概要

○資料送付 令和 3年 2月17日（水曜日）

○意見書提出期限 令和 3年 2月28日（日曜日）

○委員 別紙のとおり

○書面協議内容 第2期鶴岡市地域コミュニティ推進計画（案）について

以下、委員意見・質問と事務局回答

No	市施策	鶴岡	藤島	羽黒	楡引	朝日	温海	その他	頁	内容	対応
1	○								56	具体的な取組の例と照らし合わせると、市施策②「コミュニティ意識の醸成と担い手の育成促進」は、計画の柱のⅢ・Ⅳの欄にも●があったほうが良いと思われます。	提案のように柱Ⅲ・柱Ⅳも追加しました。
2	○								57	市施策①の説明文1行目について、「…住民が主体となり取組む活動等を支援します」の部分ですが、取組みと活動は同じような意味があると思われます。「住民主体の取組みを支援します」でどうでしょうか？	提案のように変更しました。
3	○								57	市施策①の取組の8つ目に「上手くつなげ」とありますが、何と何をつなげるのでしょうか？「…資源として、課題解決や…」として「上手くつなげる」を省いてしまうのでしょうか？	提案のように変更しました。
4	○								57	市施策②の取組の1つ目について、先日、地区の地域ビジョン策定の会議でも話題になったのですが、現在の活動内容の中でも事業の垣根を超えて一緒に展開していくことで他方面の広がりを持つのではないかと思います。例えば、お茶のみサロン（に地元のコーヒー店に出張に来てもらう）、郷土料理を作る事業、子ども会、高齢者向けの事業など様々な事業をマッチングして、同じステージで開かれた環境で行うことで今までない交流が生まれるのではないかと思います。	貴重な意見として頂戴します。 なお、取組に「連携事業の展開など」を追加しました。
5	○								57	市施策②の取組の2つ目に「…コーディネーション力が必要であり、そういったスキル」の部分ですが、「…コーディネーション力が求められます。必要とされるスキルの習得、向上にむけて研修会等を開催します」ではどうでしょうか？	提案を参考に変更しました。
6	○								58	市施策②の取組の5つ目に「学校と地域が連携・協働し～理解を深める活動を支援します」とあるが、いろいろな活動に対しての支援を予備化するには時間がかかり、学校の子供達、地域諸団体のもりあがりに対して対応できていないのではないか。（例）鼠ヶ関小学校6年生が学習の一貫として「鼠ヶ関プロジェクト」でアイデアを出した。みちくさ会・自治会・観光協会・商工会・漁協等協力してアイデアの1つ「恋する灯台」「弁天島」周辺へのイルミネーションを実施しようとした。市では、いろいろなサポートはあったが、予算化するには時間と手続上の問題があり、財政的な支援は受ける事ができなかった。子供達のアイデアを実現したく各団体が協力し、実現に向けてがんばっている。将来の担い手への大変よい教育となると思う。期の途中であっても柔軟に対応して財政的な支援をできるようにできないかと思う。	貴重な意見として頂戴します。
7	○								58	市施策②の取組の6つ目、コミュニティスクール導入や地域学校協働活動について、鶴岡市社会福祉協議会の地域福祉活動計画においても、学校や地域を基盤とした福祉教育の推進、充実を掲げていることから、今後、取組み内容についての共有を図らせていただきたい。 なお、令和2年度の参考事例として、楡引地域においては中学校との協働により地域の食品を自宅まで配達する商店マップの作成と配布、温海地域では、中学校での（コロナ禍による）差別に関わる法についての福祉学習会を開催しています。	貴重な意見として頂戴します。担当の教育委員会に申し伝えます。

No	市施策	鶴岡	藤島	羽黒	櫛引	朝日	温海	その他	頁	内容	対応
8								○	23	朝日地域の東部コミュニティセンターが内閣府の「小さな拠点」構想モデル地域になっているようですが、その点で物心両面で変わったこと、今後変わっていきそうなことなどあれば教えていただきたいです。	小さな拠点づくり検討委員会で老若男女の幅広い意見を反映させた地域デザインを策定することができました。また、ハード面では活動拠点となる施設「大網地区地域交流センター」を整備しました。 今後については、持続可能な住民主体の地域運営に取り組んでいくことが期待されます。
9								○	25、61	P25「3計画の基本的な考え方」の最後の4行の中に、この計画を踏まえて「地域ビジョン」策定と「地域運営協議会」形成を推進とあります。P61「6計画の推進 (2)計画の推進」の中でも同じことが述べられております。うまく言えませんが、これでは進め方として違って来るような感じがします。最終的にどうしたいのでしょうか？	計画を推進するにあたっては、地域主体の具体的な取組を実現するために、「地域ビジョン」策定や「地域運営組織」運営強化を図り、地域が一体となって地域づくりに取り組んでいくのが望ましいと考えていることから、P25とP61に同じことを記しています。
10								○	27	住民への説明図としては最良と思います。 1.コミュニティ振興会（自治振興会）には、本ページに記載されている運営組織があり活動しています。地域運営組織は、さらに運営強化を図るために、新たに地域全体に設置するイメージでしょうか。 2.実行部分のイラストに防災、体育レクリエーション、交流会、生涯学習、地域学校連携事業などを入れて、全体の地域づくりイメージが必要と思います。イメージ図は何を行おうとしているか、イラストはすぐ目に入りますので大変重要と思っています。福祉事業が重要であることは分かりますが。	1. 前回の計画素案で、「地域運営組織の運営強化」と書くべきところを「地域運営協議会の形成」が混在していたため、紛らわしくなり申し訳ございませんでした。地域運営組織の定義は解釈が難しい部分もありますが、委員ご指摘のように、本市内の広域コミュニティ組織は地域運営組織的な活動をしていると認識しております。新たな設置は考えておらず、住民自治組織と各種関係団体や企業、NPO等がなお一層連携・協力しながら、一体となって地域づくり活動が進むことをイメージしています。 2. イメージ図ではありますが、幅広い活動が展開されることを踏まえ、部会例と取組例を追加しました。

No	市施策	鶴岡	藤島	羽黒	櫛引	朝日	温海	その他	頁	内容	対応
11		○	○	○	○	○	○		28-55	鶴岡市地域21学区地区社協並びに各福祉センター（藤島・羽黒・櫛引・朝日・温海）エリアにおいて、現在、第2期コミュニティ推進計画と計画期間を同じくする「地域支え合いプラン」の策定が進められており、このプランは、それぞれのエリアの地域福祉活動計画として位置付けられるものであることから、福祉や防災・安全・安心などの項目において、関連する計画としての記載について検討をいただきたい。	提案を踏まえ、各地域の広域の取組例に『〇地域共生社会の実現に向けた「支え合いプラン」の推進』を追加しました。
12		○							30	鶴岡（単位）課題②の説明文3～5行目について、P43（広域）課題②の3～4行目の「また担い手不足を解消…仕掛けづくりが必要です」と同じ表現ではどうでしょうか？	提案を参考に変更しました。
13		○							30	鶴岡（単位）課題②の担い手についてはまさにこの通りだと思います。各種会議に、担い手を見つけていくために地域の若い世代を、また多くの意見を取り入れるために学生などもオブザーバーとして参加してもらうなど、出来る事をどんどん進めていく必要があると思います。	貴重な意見として頂戴します。
14		○							30	鶴岡（単位）課題③の説明文1～2行目の「市域では一番低く、わずかですが低下傾向にあります」ですが、一番低いのはわかりますが、低下傾向としては他地域も同様と思われます。 「他地域と同様年々低下傾向にあり、他地域と比べ減少幅は小さいが市域では一番低い」ではどうでしょうか？	鶴岡地域の特に市街地の単位自治組織では、町内会加入勧誘等に大変ご苦勞をされております。一方、鶴岡以外の地域では、取組例に設定するほどの状況ではないことから、鶴岡地域のことを述べるにとどめます。
15		○							31	鶴岡（単位）課題⑤の説明文1行目の「…影響もあってか」について、「…影響もあり」または「…（令和元年6月18日）後に行われた「アンケート調査」では、…」ではどうでしょうか？	提案のように後者の内容で変更しました。
16		○							32	鶴岡（広域）課題①の本文4行目の学区・地区内の組織再編について、21学区地区社協のうち5地区（1学区、2学区、4学区、6学区、上郷地区）においては、既に自治振興会と学区地区社会福祉協議会の組織統合が行われていますが、今後、組織統合の検討の際には、鶴岡市社会福祉協議会も関与をさせていただきたい。	貴重な意見として頂戴します。広域コミュニティ組織に申し伝えます。
17							○		54	温海（単位）課題③の取組例に関連して、有事の時の設備の整った避難所が各地域にどれくらいあるのでしょうか。又収容人数はどれくらいですか。	温海地区の指定緊急避難場所について、一次避難場所は119箇所（収容人数103,112人）、二次避難場所は54箇所（収容人数7,886人）であり、洪水や津波などの災害種別に指定しています。 また、令和2年度、コロナ対策として衛生用品（非接触型体温計、消毒液、マスク、折り畳みマット）を指定避難所（二次避難場所）に配備したのは26箇所になります。

No	市施策	鶴岡	藤島	羽黒	櫛引	朝日	温海	その他	頁	内容	対応
18								○		「PTA」評議委員会、運営委員会」で12年後の小学生の児童が半分以下になるとの説明があり、衝撃を受けた。目の前の事におわれており10年後の事について改めて考えさせられた。又、10年後の地域社会への恐怖があるのかもしれない。人口減少、少子高齢化、広域コミュニティ活動についてすぐにでも取り組んでいかなければならないと考えさせられた。又「Aコープの撤退」「荘内銀行温海支店撤退」等人口減少による。経済的基盤の低下により、生活していく上での社会的基盤が低下しており、負の連鎖（スパイラル）となっている。山形沖地震、新型コロナウイルスで2年間さらに強くなった今、真剣に取り組まなければ地域社会は崩壊する可能性が大となっている。	貴重な意見として頂戴します。